

インクルーシブの窓

令和6年4月 富山県教育委員会教育みらい室特別支援教育課



とやまアビリンピックを応援しましょう！



7月20日(土)に、第22回とやまアビリンピック2024が開催されます。大会の正式名称は「障害者技能競技大会」で、誰もが親しみやすいように「アビリティ」(能力: ABILITY)と「オリンピック」(OLYMPICS)を合わせた「アビリンピック」が愛称になっています。アビリスというマスコットキャラクターもいます。

アビリンピックは、障がい者が日ごろ培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々に障がい者に対する理解と認識を深め、その雇用の促進を図ることを目的に(※下線部はリーフレットから引用)開催されます。地方大会、全国大会、そして、4年に一度の国際大会が行われています。

富山県では、2003年に第1回大会が開かれて以来、毎年行われ、昨年度は一般企業に勤めている人や特別支援学校に在籍している満15歳以上の生徒合わせて48名の選手が参加されました。今年度は、5月24日(金)が参加申し込み期限となっています。選手の皆さんが持てる力を発揮し活躍されることを願っています。

競技種目	内容(※リーフレットより筆者抜粋)
パソコンデータ入力	入力、帳票等作成、文章修正
ワード・プロセッサ	規定文書等の作成
表計算	パソコンによる規定表の作成
オフィスアシスタント	ビジネス文書を出すまでの3つの手順
木工	規定品の作成
ビルクリーニング	模擬スペースの清掃
喫茶サービス	模擬店による喫茶作業

さて、このアビリンピックの沿革を調べてみると、1997年の全国大会から、知的障害者が参加できるようになったことが分かりました。『障害者の雇用の促進等に関する法律(障害者雇用促進法)』が改正され、知的障害者が雇用義務化されたことによるそうです。

『障害者雇用促進法』は、障害の有無に関わらず希望や能力に応じて地域で働き、地域の一員として生活できる共生社会の実現を目指しています。そのために、民間企業や国、地方自治体には、従業員の一定の割合で障害者を雇用すること(法定雇用率)が義務付けられています。

民間企業の法定雇用率は、本年4月から0.2ポイント上がって2.5%になりました。今後も段階的に引き上げられることになっています。障害のある人が働くチャンスがさらに広がり、共生社会の実現への歩みが一層進んでいくことを願わずにはられません。

<引用・参考>

- 第22回とやまアビリンピック2024リーフレット(とやまアビリンピック2024実行委員会事務局)
- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構(JEED)ホームページ